

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年7月31日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一財) FM八女	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 八女市	
所在地	福岡県八女市黒木町今1314番地1	
設立時期	平成23年7月20日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	6人【常勤4人(正職員3人・契約1人)、非常勤(パート)2人】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 諸富 一文 (出身組織名) 八女商工会議所 (有)諸富林産興業	八女商工会議所会頭 (有)諸富林産興業代表取締役 商工会議所会頭として、地域振興や経営支援による地域活性化を実行。また、有限会社 諸富林産興業の代表取締役として地場産業に深く関わり、多様な事業者ネットワークを有し、地域商工業者との連携など様々なパイプ役となっている。
観光事業部統括責任者	(氏名) 荒川 真美 (出身組織名) (一財) FM八女 理事 八女市観光振興課長	平成25年4月より観光事業を担当。 観光庁、農水省、環境庁、福岡県等の交付金、補助金等を活用しながら八女市の観光事業の推進に携わる。 福岡県観光審議会委員(R1～現在) 国内旅行業務取扱管理者
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー)	(氏名) 角 こずえ「専従」 (出身組織名) (一財) FM八女	令和3年4月入職。ホテル支配人や海外生活等の経験を活かし、マーケティング担当並びにWEB担当として業務に従事。
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー)	(氏名) 中村 かおり「専従」 (出身組織名) (一財) FM八女	平成30年9月入職。観光事業部会計責任者として、予算管理・資金繰りから日々の出納業務までを担当。令和4年4月より茶のくに観光案内所所長を兼務し、旅行商品の企画、開発、インバウンド事業担当者および地域事業者や行政とのパイプ役としての役割も担う。 国内旅行業務取扱管理者、インバウンド実務主任者

放送部門の責任者 (専門人材)	(氏名) 高木 祥平 一財) FM八女 放送事業部	放送部門でFM放送局の局長として、番組企画、制作を行う。 八女福島観光事業調査研究プロジェクト委員 FM八女 放送局長
連携する地方公共 団体の担当部署名 及び役割	八女市【3部7課5支所】 ・観光振興課：観光振興事業、物産販路拡大事業、都市交流事業、プロモーション、マーケティング他 ・企画政策課：放送事業、広報事業 ・定住対策課：定住対策事業、町並み景観事業 ・農業振興課：農産品振興事業、6次産業化 ・商工振興課：公共交通事業、伝統工芸産業関連事業 ・文化振興課：歴史文化交流事業、文化振興事業 ・社会教育課：青少年育成事業 ・黒木支所 ・立花支所 ・上陽支所 ・矢部支所 ・星野支所	
連携する事業者名 及び役割	(市内) ・(一財) 八女伝統工芸館 【町並みガイド・観光施設連携】 ・(株)YM サービス (池の山荘・池の山キャンプ場・くつろぎの森グリーンピア八女・べんがら村・やべのもり) 【観光施設、宿泊施設連携】 ・NPO 法人 八女 SUN・SUN (ほたと石橋の館) 【観光施設連携】 ・(有) 道の駅たちばな 【観光施設・食イベント連携】 ・堀川バス(株) 【交通事業者】 ・(一財) 秘境柚の里 (アンテナショップ八女本舗) 【情報発信・地元製品の販売】 ・(株) うなぎの寝床 【事業連携】 ・(株) UNA ラボラトリーズ 【事業連携・旅行商品造成及び販売】 ・八女飲食店組合 (アンテナエイト) 【食イベント連携】 ・福岡県八女茶推進協議会 【食イベント連携】 ・八女市観光協会 【観光案内事業・八女フィルムコミッション事業】 (市外) ・(公社) 福岡県観光連盟 【観光事業企画アドバイス】 *地域連携DMO ・(一社) 九州観光機構 【観光事業企画アドバイス】 *広域連携DMO ・(一社) 福岡県旅行業協会 【旅行商品企画アドバイス】 ・九州産業大学地域共創学部 【観光事業アドバイザー】 ・(株) ビーワゴン 【コンサルティング】 ・近畿日本ツーリスト (株) 【旅行事業者】 ・(有) フクオカ・ナウ 【広告・外国人向けプロモーション】 ・JAL 【交通事業者】 ・ANA 【交通事業者】・ANAあきんど (株) 【旅行事業プロモーション】 ・西鉄バス(株) 【交通事業者】 ・西鉄旅行(株) 【旅行事業者】 ・ラブエフエム国際放送(株) 【放送事業者】 ・(株) JTB 【旅行事業者】 ・(株) タイミー 【ワーケーション】	
官民・産業間・地域 間との持続可能な	【該当する登録要件】①② ①(一財) FM八女 (理事会、評議員会) ・ FM八女理事会	

<p>連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>構成員：八女商工会議所会頭、八女市商工会会長、福岡八女農協組合長、八女市副市長、八女市企画部長、八女市観光振興課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FM八女評議員会 <p>構成員：八女商工会議所専務理事、八女市商工会事務局長、福岡八女農協組合総務企画部長、八女市副市長</p> <p>理事会並びに評議員会においてコンセプトに基づく観光事業戦略について合意形成。</p> <p>②八女市観光事業開発委員会</p> <p>年 2 回程度開催。</p> <p>構成員：八女市副市長、八女市企画部長、福岡県観光振興課、福岡県政策支援課、福岡県観光連盟、八女商工会議所、八女市商工会、福岡八女農業協同組合、八女市観光協会、(株) YMサービス、大丸タクシー(株)、(一財)八女伝統工芸館、(一財) FM八女</p> <p>内容：茶のくに観光アクションプランの策定、コンセプトに基づく観光推進事業の検討、FM八女事業計画および報告</p>																
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM八女のコミュニティ放送番組内で毎月第 4 金曜日に観光情報や観光地域づくりの取り組みを紹介 ・ 観光事業者以外の事業者や高等学校との協働事業を積極的に実施。 <p>八女の食開発イベント：高校生・観光施設レストラン・生産者が、八女の食材で新メニューを開発 (R3 地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップ・セミナーの開催 「古民家再生ワークショップ」(R2, R3) セミナー「滞在型観光による地域経済の活性化」(R2) その他セミナー (キャッシュレス、多言語コールセンター、英会話・接客英語等) ・ 八女市インバウンド協力店制度 																
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】 (茶のくに観光事業の経緯)</p> <table border="1" data-bbox="432 1352 1409 2009"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2009 (H21) ～ 2011 (H23)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村合併を機に、八女市観光事業開発委員会を設置 ・ 地域資源調査、人材データ作成、観光基礎データ集約 ・ H22 FM福岡「茶のくに八女は楽しい」開始(～H30 年度) </td> </tr> <tr> <td>2012 (H24)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 茶のくに観光案内所オープン。八女市観光振興課と観光案内所を八女観光物産館「ときめき」内に設置。観光コーディネーター、観光案内人の配置 </td> </tr> <tr> <td>2013 (H25)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 アンテナショップ「八女本舗」オープン(福岡市中央区天神) ・ 7 月 旅行業登録【福岡県知事登録旅行業第 3 種 772 号】、 ・ 第 1 次茶のくに観光アクションプラン策定 </td> </tr> <tr> <td>2015 (H27)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 (一財)FM 八女で観光事業開始 </td> </tr> <tr> <td>2016 (H28)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次茶のくに観光アクションプラン(2017-2021)策定 </td> </tr> <tr> <td>2017 (H29)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バス茶のくに回数券販売開始 </td> </tr> <tr> <td>2018 (H30)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 日本版 DMO 候補法人登録 </td> </tr> </tbody> </table>	年度	概要	2009 (H21) ～ 2011 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村合併を機に、八女市観光事業開発委員会を設置 ・ 地域資源調査、人材データ作成、観光基礎データ集約 ・ H22 FM福岡「茶のくに八女は楽しい」開始(～H30 年度) 	2012 (H24)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 茶のくに観光案内所オープン。八女市観光振興課と観光案内所を八女観光物産館「ときめき」内に設置。観光コーディネーター、観光案内人の配置 	2013 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 アンテナショップ「八女本舗」オープン(福岡市中央区天神) ・ 7 月 旅行業登録【福岡県知事登録旅行業第 3 種 772 号】、 ・ 第 1 次茶のくに観光アクションプラン策定 	2015 (H27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 (一財)FM 八女で観光事業開始 	2016 (H28)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次茶のくに観光アクションプラン(2017-2021)策定 	2017 (H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バス茶のくに回数券販売開始 	2018 (H30)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 日本版 DMO 候補法人登録
年度	概要																
2009 (H21) ～ 2011 (H23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村合併を機に、八女市観光事業開発委員会を設置 ・ 地域資源調査、人材データ作成、観光基礎データ集約 ・ H22 FM福岡「茶のくに八女は楽しい」開始(～H30 年度) 																
2012 (H24)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 茶のくに観光案内所オープン。八女市観光振興課と観光案内所を八女観光物産館「ときめき」内に設置。観光コーディネーター、観光案内人の配置 																
2013 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 アンテナショップ「八女本舗」オープン(福岡市中央区天神) ・ 7 月 旅行業登録【福岡県知事登録旅行業第 3 種 772 号】、 ・ 第 1 次茶のくに観光アクションプラン策定 																
2015 (H27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 (一財)FM 八女で観光事業開始 																
2016 (H28)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次茶のくに観光アクションプラン(2017-2021)策定 																
2017 (H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バス茶のくに回数券販売開始 																
2018 (H30)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 月 日本版 DMO 候補法人登録 																

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 日本版 DMO 法人登録
2022 (R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 登録 DMO 更新登録 ・ 3月 第3次茶のくに観光アクションプラン(2023-2027)策定
(主な事業) 下線は R4 年度実施内容	
事業	実施概要
情報発信・ プロモーション	<p>【Web サイト・SNS】</p> <p>H27 八女観光ホームページ改修</p> <p>H29 茶のくにフォトライター開始(地域在住外国人による英語・繁体字による SNS 投稿)</p> <p>H29 英語版 Web サイト「Visit YAME」作成</p> <p>H30 「Visit YAME」繁体字版作成</p> <p>R3 グルメサイト「やめぐるめ」改修</p> <p>JNTO 観光コンテンツ多言語ウェブサイト「Experience in Japan」掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> -隠れ家的バーでのプライベート酒レッスン(英語・中国語簡体字・韓国語) -アート書道体験(英語) -八女和紙と漆の塗り箸づくり(英語) <p>R4 <u>八女観光サイト サステナブルツーリズム ページ追加(日・英・中/繁)</u></p> <p><u>旧大内邸 WEB サイト制作(日・英・中/繁)</u></p> <p>【海外インフルエンサー・メディア活用】</p> <p>H29 香港・台湾ブロガー招へい</p> <p>H30 ブロガー招へい・取材：香港テレビ局、香港雑誌、福岡県イメージビデオ)</p> <p>H31 香港雑誌取材</p> <p>R4 台湾・香港向け WEB マガジン「初耳」 記事掲載 2 本</p> <p>【イベント】</p> <p>R3 八女フェア(7/8~13 イオン戸畑ショッピングセンター/北九州市)：物産展</p> <p>八女フェア in 天神(10/23, 24 福岡三越ライオン広場/福岡市)：物産展、福岡-八女モニターバス PR・予約受付、アンケート調査</p> <p>アンテナショップ八女本舗でのプロモーションイベント</p> <p>R4 <u>クラフトビールフェア(7/23 八女本舗/福岡市)</u></p> <p><u>ツーリズム EXPO ジャパン 2022(9/23, 24 東京ビッグサイト/東京都)</u></p> <p><u>福岡空港 JAL マルシェ(2/4, 5 福岡空港/福岡市)</u></p> <p><u>八女本舗酒蔵びらき(3/18 八女本舗/福岡市)</u></p> <p>【商談会等】</p> <p>R1 商談会(上海)</p> <p>R2 九州インバウンド観光商談会</p> <p>R3 JNTO 出張相談会(テーマ：台湾) (8/27 オンライン)</p>

		<p>2022 年度下期 九州観光素材相談会 主催：(一社)九州観光推進機構、福岡県観光連盟他</p> <p>【その他】 R3 アメリカ在住者向けオンラインツアー (10/24, 11/7 主催：IACE トラベル)</p>
	<p>受入環境の整備</p>	<p>【インバウンド対応】 H28 外国語表記ガイドライン策定 H29 外国語(英)対応スタッフ臨時雇用開始 H30 外国語(英)対応スタッフ正規雇用開始 インバウンド研修(多言語対応コールセンター、キャッシュレス決済) H31 通年型体験・工房見学予約サイト作成(英語) 同 パンフレット作製(英語・簡体字) インバウンド研修(多言語対応コールセンター、英語接客等) R2 多言語情報提供ツール制作：夜遊びマップ、茶畑案内リーフレット(誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業/観光庁) R3 地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修(主催：観光庁)</p> <p>【観光案内所】 H30 JNTO 認定外国人観光案内所 カテゴリー2 登録</p>
	<p>観光資源の磨き上げ</p>	<p>【コンテンツ造成・磨き上げ】 H25.3 着地型プログラム第一回「旅する茶のくに週間」実施(以降継続、R3～コロナ禍により休止) H25.7 日帰りバスツアー「旅する茶のくにバスツアー」モニター実施 H26.4 日帰りバスツアー「旅する茶のくにバスツアー」本格実施(以降継続) H28.4 インバウンドモニターツアー実施(ターゲット：香港) H29 インバウンドバスツアー本格稼働(R2 年度～コロナ禍により休止) R2 ・インバウンド向け体験型観光コンテンツ開発 7 商品(うち 2 商品モニター実施) ・「八女茶ブランド力向上」×「マイクロツーリズム」による滞在体験型コンテンツ造成(誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業/観光庁) R3 ・「八女茶ブランド力向上」×「ガストロノミーツーリズム」によるハイブリッド型実証実験～1 市 3 町 2 村の農業と観光を結ぶ・産学官連携プロジェクト～(地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業/観光庁) ・ONSEN ガストロノミーモニターツアー&奥八女 PR ・八女ワーケーション促進実証実験 ・富裕層&ポストコロナ訪日客向けツアー実証実験(既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業/観光庁)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・アドベンチャーツーリズム商品造成（九州観光推進機構） ・アンテナショップ八女本舗魅力向上支援業務委託 ・八女市上陽・矢部地区観光資源魅力向上支援業務委託 ・インバウンド向け体験プログラム 追加2本 <ul style="list-style-type: none"> - Private Sake Lesson at the Hidden Bar（隠れ家的バーでのプライベート酒レッスン） - ‘WABI SABI’ Japanese ART Experience（アート書道体験） <p>R4・旅行者と創る「参加型ローカルガストロノミー八女」(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業/観光庁)</p> <p>-シェフ・イン・レジデンス（①8/22～24, ②9/13～16）</p> <p>-モニターツアー2本</p> <p>-体験プログラム5本・旅行商品6本造成</p> <p>・矢部村宿泊者専用オプション造成（季節の茶会プラン）</p> <p><u>（既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業/観光庁）</u></p> <p>【飲み歩きイベント】</p> <p>H27 八女サルー祭り</p> <p>H30 俺の一杯</p> <p>R2 俺の一杯：コロナ禍により「テイクアウト」のイベントとして実施</p>
	その他	<p>【マーケティング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3 来訪者調査を Web 形式に変更

【定量的な評価】

項目	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	千人	2,018.8	1,990	1,203	1,047	1,604.3
観光案内所 外国人来訪者数	人	-	360	26	12	96
旅行業取扱金額（旅行商品販売額）	千円	15,453	13,579	4,664	4,025	5,432
八女観光サイト PV 数	PV	192,540	215,289	186,152	183,737	267,251
Visit YAME PV 数（英語+繁体字）	PV	17,462	11,782	6,677	5,603	9,365

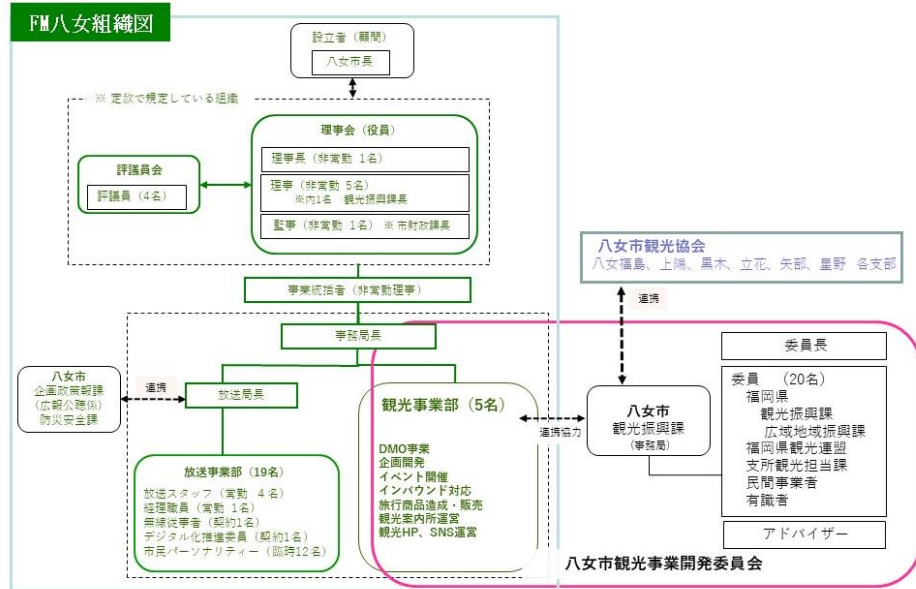
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

- ・（一財）FM八女理事会並びに評議員会（構成員：商工会議所、商工会、JA、市） コンセプトに基づく観光事業戦略について合意形成
- ・八女市観光事業開発委員会（構成員：行政、旅行事業者、飲食業、交通事業者、宿泊事業者、公共施設の指定管理者など） 観光アクションプランの策定やコンセプトに基づく観光推進事業の検討およびKPI、各事業の実施状況について報告や意見交換
- ・（一財）FM八女観光事業部 市との緊密な連携のもと、各事業の実施及び茶のくに観光案内所を運営

【実施体制図】



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 18 年 10 月八女市と上陽町、平成 22 年 2 月八女市と黒木町、立花町、矢部村、星野村の 1 市 3 町 2 村が合併し「八女市」が誕生した。また、県下 2 位の広大な面積を有し多数の集落が点在する本市では、平成 23 年 7 月に市内全域への防災及び情報の伝達・共有化を図るための情報伝達手段として、(一財) FM八女を設立している。よって八女市全域を区域としてDMOを運営することが望ましいと考える。

【観光客の実態等】

八女市を訪れる観光客数は、概ね年間 200 万人で推移しており、その 8 割以上が県内からとなっている。また、市内に鉄道駅はなく、民間バス会社による輸送となるが、山間部では運行本数が極端に少なく、そのためほとんどの観光客がレンタカーやマイカーなどの自動車利用となっている。海外の来訪客においては、その 9 割が個人旅行者であり特にアジア圏からの旅行者がほとんどを占めている。近年では、特産の「八女茶」「伝統工芸品」を目当てとした個人旅行者も増加傾向にある。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

・観光施設・・・茶のくに観光案内所、べんがら村、八女伝統工芸館、横町町家交流館、くつろぎの森グリーンピア八女、グリーンパル日向神峽、えがおの森、男ノ子焼の里、白城の里旧大内邸、夢たちばなビレッジ、ふるさとわらべ館、ほたと石橋の館、星の文化館、茶の文化館、星野温泉池の山荘、池の山キャンプ場、奥八女別邸やべのもり、柚のさと、奥八女焚火の森キャンプフィールド、柚人の家、男ノ子焼の里、プーさんのいちご園、平井観光農園、ココチ農園

・商業施設・・・八女観光物産館「ときめき」、道の駅たちばな、立花ワイン工場、茶彩館、おぼしやんの店清流、星野村農産物直売所びそん、出逢、柚のさと

・自然・・・八女中央大茶園、八女古墳群（岩戸山古墳）、飛形山、松尾弁財天、霊巖寺の奇岩群、ハート岩、八女津媛神社、けほぎ岩、納又滝、麻生池（オグラコウホネ）、室山熊野神社、谷川梅林、黒木のフジ、桜（北川内公園、城山公園、矢部 1000 本桜、無量寿院、岡山公園、矢部川堤防他）、ホタル（上陽、立花、黒木、星野、矢部地区）、日向神ダム、星の花公園、ミヤシノのシャクナゲ園、麻生池、星のふるさと公園、平和の広場、棚田（広内、上原、鹿里）、彼岸花、千間土居公園

・文化・・・おりなす八女、岩戸山歴史文化交流館いわいの郷、田崎廣助美術館、八女手すき和紙資料館、八女民俗資料館、柚のふるさと文化館、堺屋、学びの館、八女福島の白壁の町並み、土橋市場、旧松木家、五條家御旗祭、八女津媛神社の浮立、田代の風流、風流はんや舞、古陶星野焼展示館、大柚公園、良成親王ご陵墓

・スポーツ・・・グリーンフィールド八女、八女市八名山、九州オルレ八女コース、森林セラピー(グリーンピア八女)、八女上陽ゴルフ倶楽部、上陽咲さるこ（フットパス）

・イベント・・・夢たちばな観梅会、雛の里・八女ぼんぼりまつり、おひなさま茶会、やべ春まつり、桜と石橋まつり、本田仁〇加、くろぎさくら祭り、男ノ子焼の里れんげまつり、黒木大藤まつり、シャクナゲまつり、献茶祭、山内水天宮祭（花火）、上陽新茶まつり、八女新茶まつり、迎春ホタルまつり、星の新茶まつり、上陽ほたと銘茶まつり、八女茶山唄日本一大会、田代ホタルまつり、七夕観望会、祇園祭（こっぱげ面）、祇園祭（上陽子供神輿）、黒木町納涼花火大会（祇園祭）、七夕の茶会、平和祈念式典、万灯流し、矢部村花火大会、夏まつり（よかつ祭）、天神さん子どもまつり、八朔祭（花火）、風流はんや舞、八女のまつり、八女福島の燈籠人形（国指定重要無形民俗文化財）、大柚公園祭、旭座人形芝居、くろぎふるさと祭り、もみじまつり、八女星のまつり、八女上陽まつり、矢部まつり、笠原まつり、桜まつり健康マラソン大会、八女市駅伝大会

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

・ホテル、旅館

旧八女市：5 か所（グリーンホテル 120 人、ホテル A Z116 人、NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町 福島酒造 22 人＋旧大坪茶舗 12 人・明月荘 17 人、Craft Inn 手 [té] 旧塚本邸・蔵 12 人、Rita 八女福島 10 名）

黒木町：2 か所（グリーンピア八女 230 人、太田旅館 6 人）

上陽町：1 か所（八女上陽ゴルフ倶楽部 48 人（ホテル 24 人、ロジ 24 人））

矢部村：2 か所（やべのもり 20 人、原島旅館 10 人）

星野村：2 か所（池の山荘 59 人、星の文化館 33 人）

・キャンプ場、体験宿泊施設

黒木町：3 か所（グリーンパル日向神峡 50 人＋オートサイト 26 区画＋テントサイト 26 区画、げんき館おおぶち 94 人、焚火の森コテージ 24 人＋テントサイト 164 人）

立花町：1 か所（夢たちばなビレッジ 94 人＋オートサイト 12 区画）

星野村：1 か所（池の山キャンプ場 386 人）

・ゲストハウス等

旧八女市：2 か所（川のじ 6 人、旧貸本屋 8 人）

黒木町：2 か所（天空の茶屋敷 15 人、川の家 6 人）

・その他

宿泊施設改修計画：早しゃん家（上陽町）、男ノ子焼の里（立花町）、杣人の家（矢部村）

【利便性：区域までの交通、域内交通】

区域までの交通（八女市中心部まで）

自動車：九州自動車道八女インターから 10 分

高速バス：福岡市内より約 1 時間

公共交通機関：JR 羽犬塚駅より民間バス（堀川バス）で 30 分

域内交通

公共交通機関：民間バスのみ

※市民のための予約型乗り合いタクシー運行（平日 8 時～16 時）

【外国人観光客への対応】

茶のくに八女観光オフィシャルサイト：日本語、英語、繁体字（H30 年度開設）

SNS（フェイスブック）：日本語、英語、繁体字での投稿（各言語毎月 4 回程度）

茶のくに観光案内所：対応言語：英語（平日常駐）、スペイン語（平日非常勤）、繁体字（メール対応）、

福岡県多言語コールセンター利用、ポケットーク・スマホアプリ（ボイストラ）による対応

JNTO 認定外国人観光案内所（カテゴリー 2）

その他：

・外国人観光客、在日外国人向けのバスツアー実施（英語対応スタッフ有）

※第 3 種旅行事業者であるために、近隣久留米市からの直行バス運行。

・招聘：九州観光機構、福岡県観光連盟との連携による台湾、香港等のインフルエンサー招致活動

・研修：外国人受け入れのための地元飲食店等を対象としたキャッシュレス導入説明会並びにコールセンター活用講座（H30：福岡県、八女市共催）、外国語対応研修（R3 観光庁）

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額（観光消費額）	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	福岡県統計調査観光入込客推計調査による
延べ宿泊者数（宿泊客動向調査）	宿泊者数の推移を把握するため。	市内各宿泊施設への調査

来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	市内観光施設 18 か所に設置したポスターからアンケートフォームを利用して回答を収集。回答者は市外在住者に限定。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	市内観光施設 18 か所に設置したポスターからアンケートフォームを利用して回答を収集。回答者は市外在住者に限定。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	八女観光 HP（日本語、繁体語、英語それぞれに収集）

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

八女市では、人口減少と少子高齢化は避けては通れない課題である。人口減少社会においても、地域の活力を維持していくためには、地域特有の資源の活用が重要と考えており、各地域の魅力的な観光集客資源を最大限に活用し、広域交流・観光客数の増加を図り、市内全域での地域経済の活性化を推進したい。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（DMO）を中心として観光資源を活用した観光地域づくりを図り、交流人口の増加につなげる。

(2) 地域の強みと弱み **意欲ある DMO 自己評価シートから転載**

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの文化（地域の特徴、人） ・自然資源（市の中心部から山間地まで広大な土地を持ち四季折々の花や景観、環境） ・歴史文化遺産（古墳群、伝統行事等） ・農産物（高級八女茶他多彩な農産品） ・地域の特性に合わせたイベント ・宿泊施設、飲食店、体験施設等の開業が相次いでいる ・福岡市内・空港から好アクセス（約 1h） ・九州新幹線筑後船小屋駅から徒歩から近い（20 分） ・密を避けて楽しめるスポットが多い ・DMO が旅行業を取得している ・八女茶発祥 600 年（2023） ・福岡市内からの来訪者が多い。 ・自家用車利用の来訪者が多い。 ・（国内）リピーターが多い。 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利便性の悪さ ・過疎化・高齢化 ・休耕田・放置山林 ・空き家増加 ・指定管理施設の老朽化による維持費の拡大（修繕、改修等） ・キャッシュレス決済・Wi-Fi の未整備 ・大人数（20 名以上）収容可能な飲食店、観光スポットが少ない ・旅の目的となるような地域性のある食メニューがない ・大型バス乗り入れ不可スポット多数 ・多言語対応が不十分 ・インバウンド市場での認知度が低い ・ベジタリアンや多様な宗教対応が不十分 ・宿泊を伴う旅行者数が少ない。 ・福岡都市圏との連携が弱い
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの進展と個人客の増加 ・福岡市のコンベンション機能強化・大型ホテル開業（2023 春） ・隣接する町の外資系ホテル開業（2023 夏） ・外国人用コールセンター（福岡県） ・市による高速バス（福岡市/空港～八女）利用促進策（茶のくに回数券、パークアンドライド設置） ・宿泊税を活用した事業の継続 ・九州観光機構、県、県観光連盟との連携強化支援協力 ・コロナ禍により少人数、郊外エリアが好まれる傾向 ・サステナブルツーリズムやアドベンチャーリズムなど、旅行者の志向の変化 ・水際対策緩和による需要の反動 ・コロナ禍からの観光業復活を後押しするための国の支援策 ・円安 ・アジア諸国の経済成長 ・海外航空路線の再開 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・市の観光関連予算の削減 ・自然災害の多発 ・新型コロナウイルス感染症の再燃および別の感染症の流行 ・海外-福岡の直行便が少ない ・コロナ後の路線再開の遅れ ・ロシア・ウクライナ情勢不安 ・物価高騰 ・航空運賃高騰

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 福岡市および近郊在住の20代～40代の女性</p>
<p>○選定の理由 将来的な定住を見込んだターゲットとしての設定。 「訪問（八女を知る）→リピーター（好きになる）→定住（住みたくなる）」 本市では平成27年度「八女市人口ビジョン」および「八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し長期を見据えた中での人口減少抑制のための戦略的な施策を講じていくこととしており、令和3年度に策定された「第5次八女市総合計画」では、「第4次八女市総合計画」で示している令和2年度の目標人口70,000人から下方修正し60,700人としている。今後人口減少の抑制という大きな課題のためUターン、Iターンの施策として定住支援補助等を実施している。観光客として地域を知ってもらうことから、訪問してくれる女性を増やし、定住、移住を促進するためにターゲットとした。また、FM八女が平成30年に調査したアンケートでは、着地型プログラム「茶のくに週間」参加者の67.5%が女性であり、年齢は20代6%、30代12.9%、40代22.4%と例年40%以上を20～40代の女性が占めている。これは、体験メニューを通じ、自然や手仕事を好む女性が多いこと、また八女でのみ体験できるコアな時間を楽しめるという魅力発信にもつながり、SNS投稿によるPR告知効果も見込めるためにターゲットとした。</p> <p>○取組方針 久留米市発着八女周遊バスツアーを実施。婚活ツアーや着地型体験プログラムで八女の魅力を知らってもらう取り組みを実施する。また、アンケートによる若い女性のニーズ調査も実施する。</p>
<p>○ターゲット層 香港・台湾を中心とした東アジア、30～50代の日本リピーター、親子旅</p>
<p>○選定の理由 令和2年度、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等で、受け入れが厳しくなったインバウンド観光客ではあるものの、平成30年度までのデータをもとにターゲットを設定している。福岡県へのリピーター率が多い香港、台湾は他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が著しく多く、また市場としても今後拡大の傾向にあるため。 福岡県外国人入国者数推移調査によると、平成30年1月から11月までの入国者数は299.7万人で前年同期増減率は約2.8%である。特に香港からの入国数は平成29年から平成30年に速報値で前年比30.3%増となっている。また、観光庁「訪日外国人消費動向調査」（2017年間値）によると香港からの訪日回数2回目以上が83.6%をしめ、10回以上の訪日は全体の2割を占める。このように日本へのリピーター率が高く、香港から3時間半というアクセスのよい九州に観光に来る香港・台湾人は今後増えると予測される。また、平成28年5月に実施したインバウンド旅行商品（香港人向け）のモニターツアーの実績では、16名のモニター募集に対し212名の申し込みがあった。ただし、熊本震災で直前キャンセルも出たものの、7名は参加されそのうち3組中2組が親子旅であった。安全な国「日本」のイメージによる親孝行旅行も人気も予測されることからターゲットとした。</p> <p>○取組方針 香港、台湾向けの旅行商品の販売により、久留米市からのバスツアーを実施し、満足度調査、希望調査、可能性調査等の充実により再来訪意向につながる要因を分析する。また結果に基づいてターゲット層に響く商品を企画する。 募集については、福岡県香港事務所等協力依頼</p>
<p>○ターゲット層 福岡市内在住者（特に外国人居住者、60代以上中高年）</p>
<p>○選定の理由 福岡県内には、外国人が、学業や就業のために定住しており、本市を知っていただき、友人知人のインバウンド客との来訪を狙う。</p>

また、時間や金銭面で余裕のある在住中高年者をターゲットにすることで、観光消費額増を見込む。FM 八女が平成 30 年に調査したアンケートでは、日帰りバスツアー「旅する茶のくにバス」参加者の 49.4%が福岡都市圏在住者であり、参加年齢は 60 代以上が 78.3%、また女性の参加率は 86.1%となっている。お金と時間に余裕のある層であり、自家用車での来訪が難しい女性に人気のツアーとなっている。合わせて年間を通じ参加するリピーターも多いことからターゲットとした。

在日外国人については、福岡市住民基本台帳による平成 30 年末外国人登録者数は 37,130 人、平成 30 年 6 月法務省発表福岡県の在留外国人数は 73,876 人であり仕事、留学等で訪日した外国人が多い。また平成 29 年 9 月に実施したインバウンドツアー定員 20 名においては、在日外国人が、海外からの友人と一緒に参加するケースが 2 件あった。今後外国人の八女旅へのニーズも見込めることよりターゲットとした。

○取組方針

在日外国人向けバスツアーの実施。日本人との参加も可能とすることで、満足度調査、希望調査、可能性調査等を充実させることにより、次回は自家用車や公共交通機関を利用した個人客としての再来訪意向につながる要因を分析する。

同様に全てのバスツアーにおいて、消費額調査を実施する。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>【内部向けのコンセプト】 つながり、響く、八女の人と物語</p> <p>【マーケット向けのコンセプト】 茶のくに 八女・奥八女</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>【内部向けのコンセプト】 人の結びつきによって、点在する資源が新たな価値を生む。それぞれの地域で語られている物語を磨き、つなげ、新たな八女・奥八女の物語を奏でる。</p> <p>【マーケット向けのコンセプト】 お茶は八女市民の身近な特産物であると同時に、来訪者をもてなす心にもつながる文化である。もてなしの心を地域の価値として発信する。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>【茶のくに観光アクションプラン】 ・令和 4 年度、第三次茶のくに観光アクションプラン(2023-2027)策定。 八女市観光事業開発委員会構成団体の市内全域の事業者・行政等の若手によるワーキング部会の中で、現在の観光課題を洗い出し、策定方針および観光戦略の骨子を策定。これを八女市観光事業開発委員会で審議、承認。策定したアクションプランは、八女市 HP にて公開。 八女市観光事業開発委員会は通常年 2 回程度開催。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・</p>	<p>①観光関連事業者を対象とした研修会【年 1 回程度】 ・キャッシュレス決済</p>

<p>評価する仕組みや体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応コールセンター ・多言語対応 等 <p>②八女市インバウンド協力店登録制度 訪日外国人旅行者の受入に積極的な事業者を登録。外国人観光客受け入れに関する意識啓発・参加促進を目指す。</p>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>【WEB サイト】 静的ページを中心としたポータルサイトとしての運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八女観光」（日本語）：観光基本情報。市内事業者が提供する着地型旅行商品の予約受付機能 ・「Visit Yame」（英語・繁体字）： ・「やめぐるめ」（日本語）：飲食店情報に特化。随時情報追加更新。 <p>【SNS】 タイムリーな情報発信および市内観光事業者に関する情報を広くシェアする役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook：フォロワーに対する <ul style="list-style-type: none"> -茶のくに八女・奥八女：観光情報全般 -旅する茶のくに週間：着地型体験プログラム専用アカウント -茶のくにフォトライター：地元ライターによる3か国語（日・英・繁体字）による発信 ・ Instagram：ハッシュタグを活用した新たな顧客層へのリーチ。 <ul style="list-style-type: none"> -@visityame ・ YouTube <ul style="list-style-type: none"> -FM 八女：放送事業部が運営するチャンネルを活用した観光情報発信 <p>【対面プロモーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市内（アンテナショップ八女本舗等）を活用したPRイベントの開催 <p>【他機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県在外事務所（香港・上海等）、福岡県観光連盟、九州観光機構との連携によるプロモーション（インフルエンサー招へい等）

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●観光消費額 (百万円)	目標	2,000 ()	2,000 ()	2,500 ()	3,600 ()	4,100 ()	4,150 ()
	実績	2,159 ()	2,071 ()	3,134 ()	/	/	/
		77	77	110	168	190	200

●延べ宿泊者数 (千人)	目標	(0)	(0)	(0.8)	(0.5)	(0.7)	(1)
	実績	94.4 (0.24)	100.4 (0.14)	152 (0.3)			
●来訪者満足度 (%)	目標	87 (0)	87 (0)	90 (85)	90 (85)	90 (87)	90 (87)
	実績	92 (0)	96 (-)	94 (-)			
●リピーター率 (%)	目標	70 (0)	70 (0)	80 (5)	80 (5)	80 (5)	80 (5)
	実績	74 (0)	77 (0)	75 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・各調査から抽出した現状データをもとに目標を設定。コロナ禍を受け、全体的に下方修正していたが、収束傾向を受け、令和5年春に再設定した。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

旅行消費額実績値は福岡県が各市町村ごとに毎年行っている「観光消費額調査（宿泊客・日帰り客）」から算出。その数値を、八女市が各施設所管の支所ごとに集計し、観光振興課で集約した「観光入込客数」で除して、一人当たり単価を算出した。

●延べ宿泊者数

データは各宿泊施設への聞き取りおよび調査書の回答から得た。コロナ禍で下方修正していたが、令和5年以降は、全体の目標を令和7年度に20万人泊を達成できるよう上方修正した。

●来訪者満足度

令和3年度よりデータを市内観光施設来訪者に対するWEBアンケート調査に変更し、本調査での満足度10段階評価で7以上の割合を本項目の数値として採用している。安定して90%以上の満足度を得られており、今後もこの水準の維持を目指す。

●リピーター率

市外からの来訪者に対するWEBアンケート調査からの数値を採用。近年県外さらに九州外の来訪者の割合が増加しており、リピーター率減少の一因と考えられるが、新規来訪者の獲得も重要であることから、リピーター率は高くても80%程度が適切であると考え目標を設定。

(2) その他の目標

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
		●WEBサイトのアクセス状況(PV数)	目標	-	-	200,000	280,000
	実績	186,152	183,737	267,251			

●外国語版 WEB サイト訪問数（PV数）	目標	10,000	10,000	7,000	10,000	15,000	20,000
	実績	6,677	5,603	9,365			
●住民満足度	目標	-	-	3.10	3.15	3.2	3.2
	実績	3.03	3.15	3.19			
●旅行商品販売額 （千円）	目標	5,100	5,100	5,500	6,000	6,500	6,700
	実績	4,664	4,025	5,432	-	-	
●旅行商品販売数 （本）	目標	40	40	30	20	20	20
	実績	16	6	17	-	-	
●観光案内所外国人 訪問者数（人）	目標	0	0	50	100	150	190
	実績	26	12	96			

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

第5次八女市総合計画前期基本計画（令和3年度から令和8年度）の目標指数である観光入込客数（令和3年度目標：270万人）、開発旅行商品への参加観光客数（令和3年度目標：700人）を元に伸び率を参考に今後の目標値を設定していた。新型コロナウイルスの影響を経て、令和5年度再設定した。

【設定にあたっての考え方】

●WEBサイトのアクセス状況

令和4年春にWEBサイトのアクセス状況を新指標として追加。コロナ禍に減少していた数値が、令和4年度はコロナ前を上回る状況となったため、以降の目標は上方修正した。

●住民満足度

令和4年春に新指標として追加。八女市が実施する行政評価に伴う市民アンケートの「観光振興」施策に対する納得度（4段階評価）の数値を採用。過去5年の推移をみると、3.1台が中心。FM放送を通じた市民への情報提供・啓発等を進めることにより、ポイント上昇を目指していきたい。

●旅行商品販売額/旅行商品販売数

コロナ禍にほぼ休止していた旅行商品販売を令和4年度より再開。今後販売を強化していく商品の変更も考えられることから、販売本数よりは販売額を重視していく。

●観光案内所外国人訪問者数

コロナ禍を経て、目標を再設定した。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳
2020（R2） 年度	57,938,000円	【国からの交付金】 7,718,000円 【都道府県補助金】 24,000円 【市からの負担金指定管理収入】 18,974,000円 【市等からの受託事業】 12,198,000円

		【収益事業収入】	18,352,000 円
		【雑入等】	672,000 円
2021 (R3) 年度	101,131,000 円	【国からの交付金】	51,322,000 円
		【都道府県補助金】	0 円
		【市からの負担金指定管理収入】	18,894,000 円
		【市等からの受託事業】	26,583,000 円
		【収益事業収入】	3,034,000 円
		【雑入等】	1,297,000 円
2022 (R4) 年度	53,422,800 円	【国からの交付金】	2,290,000 円
		【都道府県補助金】	0 円
		【市からの負担金指定管理収入】	18,887,000 円
		【市等からの受託事業】	28,588,000 円
		【収益事業収入】	3,401,000 円
		【雑入等】	256,000 円
2023 (R5) 年度	27,387,000 円	【国からの交付金】	0 円
		【都道府県補助金】	0 円
		【市からの負担金指定管理収入】	18,887,000 円
		【市等からの受託事業】	5,000,000 円
		【収益事業収入】	3,500,000 円
		【雑入等】	0 円
2024 (R6) 年度	27,587,000 円	【国からの交付金】	0 円
		【都道府県補助金】	0 円
		【市からの負担金指定管理収入】	18,887,000 円
		【市等からの受託事業】	5,000,000 円
		【収益事業収入】	3,700,000 円
		【雑入等】	0 円
2025 (R7) 年度	27,987,000 円	【国からの交付金】	0 円
		【都道府県補助金】	0 円
		【市からの負担金指定管理収入】	18,887,000 円
		【市等からの受託事業】	5,000,000 円
		【収益事業収入】	3,900,000 円
		【雑入等】	0 円

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2020 (R2) 年度	54,433,000 円	【一般管理費】 12,468,000 円 【国内プロモーション等(環境整備)】 16,684,000 円 (観光資源磨き上げ) 16,612,000 円 【海外プロモーション】 0 円 【マーケティング調査等】 23,000 円 【ツアー経費等】 4,883,000 円 【商品販売】 3,763,000 円
2021 (R3) 年度	98,542,000 円	【一般管理費】 15,416,000 円 【観光資源の磨き上げ】 73,898,000 円 【受入環境の整備】 51,000 円 【案内所の整備】 260,000 円 【マーケティング】 28,000 円 【情報発信:素材・ツールの作成】 518,000 円 【対外的な情報発信】 4,380,000 円 【その他:ツアー経費等】 3,991,000 円

2022 (R4) 年度	43,157,000 円	【一般管理費】 15,143,000 円 【観光資源の磨き上げ】 19,653,000 円 【受入環境の整備】 776,000 円 【案内所の整備】 0 円 【マーケティング】 51,000 円 【情報発信：素材・ツールの作成】 794,000 円 【対外的な情報発信】 3,684,000 円 【その他：ツアー経費等】 3,056,000 円
2023 (R5) 年度	27,387,000 円	【一般管理費】 16,500,000 円 【観光資源の磨き上げ】 1,600,000 円 【受入環境の整備】 4,000,000 円 【案内所の整備】 100,000 円 【マーケティング】 50,000 円 【情報発信：素材・ツールの作成】 100,000 円 【対外的な情報発信】 1,000,000 円 【その他：ツアー経費等】 4,037,000 円
2024 (R6) 年度	27,587,000 円	【一般管理費】 16,500,000 円 【観光資源の磨き上げ】 1,600,000 円 【受入環境の整備】 4,000,000 円 【案内所の整備】 100,000 円 【マーケティング】 50,000 円 【情報発信：素材・ツールの作成】 100,000 円 【対外的な情報発信】 1,000,000 円 【その他：ツアー経費等】 4,237,000 円
2025 (R7) 年度	27,987,000 円	【一般管理費】 16,500,000 円 【観光資源の磨き上げ】 1,600,000 円 【受入環境の整備】 4,000,000 円 【案内所の整備】 100,000 円 【マーケティング】 50,000 円 【情報発信：素材・ツールの作成】 100,000 円 【対外的な情報発信】 1,000,000 円 【その他：ツアー経費等】 4,437,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

・ 区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

① 着地型旅行商品の造成・販売

・ 人でもてなす八女市をコンセプトに実施している着地型商品のさらなる造成と販売。また、インバウンド向けの手仕事工房体験プログラムなど市独自の地域産業や自然に拘ったプログラムを企画、販売する。

② 旅行ツアー商品の企画・販売

・ ターゲット層に合わせた商品の販売を実施。また、外国人にも対応できるように、多言語化を図る。ツアーについては、日帰りツアーに特化することなく隣接する市町村との連携を図りながら実施する。また、これまで実施してきた自社企画販売に加え、民間旅行事業者との連携により、福岡市や関西、関東などを発着地とする商品を拡充し、収益拡大を目指す。

③ 高単価商品の開発

・ 近年関心が高まるサステナブルツーリズムは、伝統工芸の集積地で多くの職人や文化財を擁する当エリアと親和性が高く、欧米を中心としたハイクラス層の誘客が期待できる。また、豊かな自然と文

化・産業を組み合わせたアドベンチャーツーリズム商品にの造成も進めている。高単価が見込まれる商品造成を重点的に実施していく。

④コラボ旅行商品企画

・地域企業、団体や地域協議会との連携によるバスツアーを実施。婚活を実施している協議会や、久留米餅等伝統工芸品を取り扱う企業等連携し実施し、旅行取扱手数料収益を上げていく。

⑤商品販売

・福岡都市部までの高速バスチケットの販売など、都市との移動手段確保、利用促進のための回遊性を高める商品の販売を実施する。また、行政や民間企業における八女観光名刺を作成し販売する。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

福岡県、八女市は、一般財団法人FM八女を当該八女市における地域DMOとして登録したいので一般財団法人FM八女とともに申請します。

[八女市の意見]

本市は、平成18年10月1日市1町、平成22年2月1日市2町2村と合併し、地域連携による観光事業を推進してきた。平成25年に策定した第1次茶のくに観光アクションプランでは、交流人口の増加、経済活動の活発化を目的に、受け入れ態勢の整備、旅行商品の造成、情報発信に予算措置し取り組んできた。今後、中心市街地から山間地に広がる自然、文化、観光施設といった点在する観光資源を、点と点を線で繋げそれを面として連携させ、市民が主役となる「おもてなし観光」を推進させるためにも、本市の観光事業受託者である一般財団法人FM八女と連携し日本版DMO構築を目指したいと考える。

[福岡県の意見]

本県では、昨年策定した「福岡県観光振興指針」において、県内に一人でも多くの観光客を呼び込み、それぞれに地域に消費と雇用を生み出すことを目指し、地域の観光団体のDMO登録を推進しているところである。

今年度から本県では、DMO構築に向けた支援を行っており、一般社団法人FM八女においては、DMOの要件とされる地域の多様な関係者の参画を確認し、さらにはマーケティング機能の強化等にも取り組んでいることを把握している。このため当該団体は、DMO構築を目指す組織として十分機能を有していると考えている。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

--

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	中村 かおり
担当部署名（役職）	一般財団法人FM八女 観光事業部（CFO）

郵便番号	834-0031
所在地	福岡県八女市本町 2-129
電話番号（直通）	0943-22-6644
F A X 番号	0943-22-7311
E - m a i l	staff@yame.travel

1 1 . 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	八女市
担当者氏名	米満 駿
担当部署名（役職）	企画部観光振興課観光振興係
郵便番号	834-0031
所在地	福岡県八女市本町 2-129
電話番号（直通）	0943-23-1192
F A X 番号	0943-22-7311
E - m a i l	kanko@city.yame.lg.jp

記入日: 令和5年 7月 31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
 福岡県八女市

【設立時期】 平成23年7月20日

【設立経緯】
 ①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 理事長 諸富 一文

【マーケティング責任者(CMO)】 角 こずえ

【財務責任者(CFO)】 中村 かおり

【職員数】 6人【常勤4人(正職員3人・契約1人)、非常勤(パート)2人】

【主な収入】
 国からの交付金 51百万円、市負担金 18百万円 受託事業 26百万円(R4年度決算)

【総支出】
 事業費 28百万円、一般管理費 15百万円(R4年度決算)

【連携する主な事業者】
 (一財)八女伝統工芸館、(株)YMサービス、NPO法人八女SUN・SUN、(有)道の駅たちばな、堀川バス(株) ほか

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●観光消費額 (百万円)	目標	2,000 ()	2,000 ()	2,500 ()	3,600 ()	4,100 ()	4,150 ()
	実績	2,159 ()	2,071 ()	3,134 ()			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	77 (0)	77 (0)	110 (0.8)	168 (0.5)	190 (0.7)	200 (1)
	実績	94.4 (0.24)	100.4 (0.14)	152 (0.3)			
●来訪者満足度 (%)	目標	87 (0)	87 (0)	90 (85)	90 (85)	90 (87)	90 (87)
	実績	92 (0)	96 (-)	94 (-)			
●リピーター率 (%)	目標	70 (0)	70 (0)	80 (5)	80 (5)	80 (5)	80 (5)
	実績	74 (0)	77 (0)	75 (-)			

戦略

【主なターゲット】
 福岡市および近郊在住の20代~40代の女性

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
 久留米市発着八女周遊バスツアーや体験プログラム等の着地型商品の造成

【観光地域づくりのコンセプト】
 (内部向けのコンセプト)
 つながり、響く、八女の人と物語
 (マーケット向けのコンセプト)
 茶のくに 八女・奥八女

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
 ・旅行者と創る「参加型ローカルガストロノミー八女」(R4サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業/観光庁)
 ・旅する茶のくにバスツアー(着地型周遊バスツアー)

【情報発信・プロモーション】
 ・アンテナショップ八女本舗(福岡市天神)を活用したPRイベント



【受入環境整備】
 ・多言語情報提供ツール制作(地図・茶畑案内リーフレット)
 ・地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修
 ・茶のくに観光案内所運営(JNTO認定外国人観光案内所 カテゴリー-2)